「白象図」（部分）持寶院

What Is Japanese Tradition?

令和7年度　今治市大三島美術館企画展

森山知己 和様に倣う

令和７年
10/4（土）
▼
12/7（日）

「倣日月四季山水図屏風」（部分）作家蔵

「海中図」（部分）岡山県立美術館

Omishima Museum of Art, Imabari

今治市大三島美術館

〒794-1304　愛媛県今治市大三島町宮浦9099－1
TEL（0897）82－1234　FAX（0897）82－1248
HP https://www.city.imabari.ehime.jp/museum/omishima/

○開館時間／9:00～17:00
○休 館 日／毎週月曜日
（祝日の場合はその翌日）
○観 覧 料／一般　520円　学生　260円
※高校生以下および18歳未満は無料
《企画展特別料金なし。通常の入館料でご覧いただけます。》

11月８日　無料開館日

大三島美術館HP

i'm into imabari!

後　援　今治市文化協会／南海放送／テレビ愛媛／あいテレビ／愛媛朝日テレビ／今治CATV／朝日新聞松山総局／愛媛新聞社／毎日新聞松山支局／読売新聞松山支局／産経新聞社

協　力　不洗観音寺／岡山県立美術館／山陽新聞社／持寶院（五十音順）

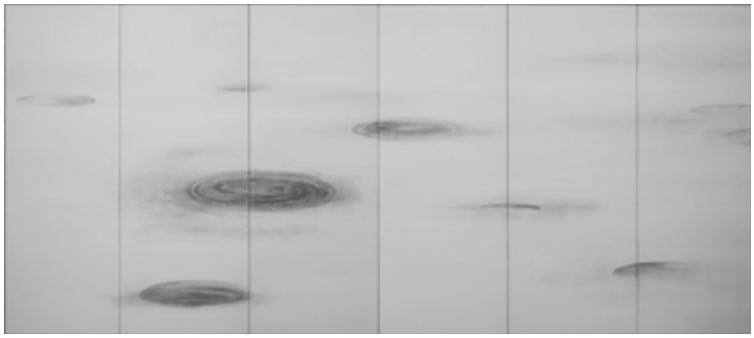
令和７年度　今治市大三島美術館企画展

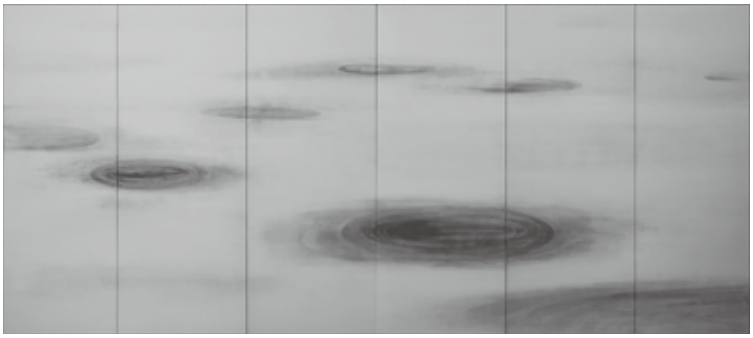
森山知己 和様に倣う

伝統的な日本画の技法を現代の作家の感覚で用いたらどんな作品に仕上がるか。国宝にも用いられている技法を研究し「倣作」に挑戦、さらにそれらの技法と世界観を取り入れ現代の日本画を描く、森山知己氏の展覧会。左右揃っては初展示の「倣日月四季山水図屏風」や、水の記憶シリーズ第１作と近年の作品の同時展示も見どころです。

森山知己（もりやま ともき）
1958年 岡山県倉敷市に生まれる。美術家。現在、倉敷芸術科学大学 客員教授。

森山知己Webサイト▶





1

2

3

1.「水の記憶」2022年（作家蔵）
2.「緋鯉図屏風」2018年（作家蔵）
3.「描法再現紅白梅図屏風」（倣光琳筆意）2011~12年（岡山県立美術館蔵）

森山知己による ギャラリートーク

日　時　令和７年11月８日(土)
13:30～15:00
会　場　今治市立大三島美術館
参加費　無料（11月８日は無料開館日）

夜の特別鑑賞会 作家・森山知己と共に

日　時　令和７年11月８日(土)
18:00～19:30
会　場　今治市立大三島美術館
参加費　入館料のみ必要

要申込　大三島美術館へ電話またはファックス（氏名、連絡先明記）

倣作を、元になった作品が描かれた頃の照明に近い明るさで鑑賞。技法と照明の効果について作家が解説。美術館外にキッチンカーが来るので美味しいものを食べながら作家とのお話を聞く時間もあります。

ワークショップ 「たらし込みで描く秋」

日　時　令和７年10月26日(日)
13:30～15:30
講　師　原田よもぎ
潮嘉子（倉敷芸術科学大学）
会　場　今治市立大三島美術館
参加費　入館料のみ
定　員　16名
対　象　小学５年生以上

応募方法　10月19日までに大三島美術館まで電話またはFAX（氏名、連絡先を明記）にて申込み

同時開催

「森山知己展 水の記憶」

2025年 10月10日(金)～11月9日(日)
会　場：きび美ミュージアム
展示の詳細については、右記Webサイトをご覧ください。